

令和 4 年度 東海村スポーツ推進計画の進捗管理シート

【基本目標 1】 子どもがスポーツを楽しむことができる

達成指標	放課後や休日に、運動部やスポーツクラブ以外で、運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをする児童・生徒の増加	策定時（H29）	小学 5 年男子 81.1%	現状値（R4）	小学 5 年男子 75.0%（△6.1%）
			小学 5 年女子 76.5%		小学 5 年女子 81.5%（ 5.0%）
			中学 2 年男子 69.4%		中学 2 年男子 65.9%（△3.5%）
			中学 2 年女子 48.4%		中学 2 年女子 53.4%（ 5.0%）

※ 達成指標は基本目標の明確化を図るために設定し、スポーツ庁が毎年実施する「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」から抽出している。数値は、達成指標において「よくある・時々ある児童・生徒の割合」の合計値。

■施策毎の取組の進捗状況及び今後の予定

施策		主な取組	今年度の取組内容	今後の予定（方向性）	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
1-①	遊びを通したスポーツ習慣づくり	小学生対象のニュースポーツ体験教室の開催	「ニュースポーツだョ！全員集合！！」や「スポフェス」において定期的にニュースポーツ体験教室を開催した。	「ニュースポーツだョ！全員集合！！」の開催に村内スポーツ団体の人材・種目を活用するなど、「習慣化」に向けた取組を強化する。	検討	実施	継続	継続	継続
		未就学児を対象とした「アクティブ・チャイルド・プログラム」の実施	がっちゃんこ祭（青少年担当主催イベント）で ACP 体験を実施した。また「ジュニア運動遊び教室」を未就学児対象に実施し、好評を得た。	様々なイベントと連携して ACP を推進していく。「ジュニア運動遊び教室」の事業展開として保護者や保育士へのアプローチを行い、ACP を日常化する。	一部実施	継続	継続	継続	実施
		子ども向け運動プログラムの普及を目的とした保護者・幼稚園教諭・保育士等を対象とする講習会等の開催	村スポ少主催でスポ少指導者等を対象としたアクティブ・チャイルド・プログラム講習会を実施した。※スタートコーチ養成講習会と隔年実施。	村スポ協、村スポ少等の主催で、スポ少指導者や保育士、スポーツ推進委員等を対象に講習会等を実施し、子ども向け運動プログラムの普及を図る。	—	実施	継続	継続	継続
1-②	親子でのスポーツ機会の充実	親子参加型の各種スポーツ教室の開催	「スポフェス」やチャレンジスクール、スマイルマラソンで親子参加メニューを実施した。	「スポフェス」やチャレンジスクール、スマイルマラソン、ニュースポーツ体験等で親子参加メニューを実施する。	—	実施	継続	継続	継続
		総合スポーツ大会等における親子参加種目の新設	「スポフェス」で親子参加型のメニューを実施（体力測定、ヨガ、ホッケー、ノルディックウォーキング、イモゾーリレー等）。	「スポフェス」等で親子参加のメニューを継続して実施する。	—	実施	継続	継続	継続
		親子スポーツ day の検討	親子（3 世代）で参加できるスポーツイベント「スポフェス」を開催した。	親子（3 世代）で参加できるスポーツイベント「スポフェス」を継続して実施する。	—	一部実施	継続	実施	継続
1-③	学校におけるスポーツ活動への支援	「いばらきスクールサポート事業」等の外部講師の活用	年度当初に茨城県水戸生涯学習センターが「いばらきスクールサポート事業」の案内パンフレットを小中学校に配付した。	教員が出席する会議等で本事業の活用方法等を周知し、活用の促進を図る。また、地域人材の育成・活用を検討する。	継続	継続	継続	継続	継続
		「地域スポーツ指導者学校派遣事業」の拡充	【第 1 期(4-8 月)】133 回/209 人 【第 2 期(9-12 月)】111 回/176 人 【R3】①103 回/159 人 ②70 回/108 人	学校のニーズに合わせ、派遣可能な種目や指導者数の拡充を検討する。運動部活動の地域移行に併せて事業内容を整理する。	実施	継続	継続	継続	継続
		トップアスリート等による出前授業、運動部活動技術指導の実施	県央地区自治体の連携事業として、プロスポーツによる地域活性化イベントを開催した。元サッカー日本代表選手を招いて「スポーツ講演会」を開催した。	県央地区自治体の連携事業として、プロスポーツによる地域活性化イベントを継続して実施する。	一部実施	継続	継続	継続	実施
		スポーツ関係団体との連携による運動部活動のない種目への活動支援	中学校運動部活動の R5 年度地域移行に向けて、モデル事業（陸上クラブ）の実施案を整理した。	中学校運動部活動の地域移行に向けて、地域クラブ活動での実施種目を拡充する。	—	—	検討	検討	検討

令和 4 年度 東海村スポーツ推進計画の進捗管理シート

【基本目標 2】 多くの人がスポーツに親しむことができる

達成指標	①余暇時間におけるスポーツ実施率の <u>増加</u> ②きっかけがないためにスポーツを行っていない人の <u>減少</u> ③スポーツボランティア経験者・希望者の <u>増加</u>	現状値 (H29)	① 13.8% ② 29.7% ③ 17.7%
------	--	--------------	-------------------------------

※ 達成指標は基本目標の明確化を図るために設定したもので、現状値は平成 2 9 年度の東海村スポーツ推進計画策定時に実施したアンケート調査の結果によるもの。次は次期計画策定時（2023 年度）に測定。

■施策毎の取組の進捗状況及び今後の予定

施策		主な取組	今年度の取組内容	今後の予定（方向性）	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
2-①	誰でもスポーツを楽しめるきっかけづくり	総合スポーツ大会の開催日に合わせたニューススポーツ教室の開催	「スポフェス」を開催し、村民が一丸となって運動する日を創出する。	「ニュースポーツだョ！全員集合！！」や「スポフェス」を始めとして、村民が一丸となって運動する日を創出する。	—	—	検討	<u>実施</u>	<u>継続</u>
		妊婦，子育て中の母親，高齢者，障がい者等を対象としたスポーツ教室の開催	「スポフェス」で高く連や総合相談支援課等と連携し，高齢者や障がい者も参加可能なスポーツ体験ブースを設置した。	SC スマイル TOKAI やスポーツ推進委員，健康増進課等と連携し，誰でも楽しんで参加できるスポーツ講座を実施する。	<u>一部実施</u>	継続	継続	継続	<u>継続</u>
		阿漕ヶ浦公園やコミセンを会場とした定期的なスポーツイベントの実施	「スポフェス」の PR を兼ねて，コミセン（自治会）まつりでニュースポーツ体験を実施した。	財団や SC スマイル TOKAI，スポーツ推進委員等と協議し，阿漕ヶ浦公園やコミセン等を活用したスポーツ事業を検討する。	—	<u>一部実施</u>	継続	継続	<u>継続</u>
		スポーツ施設へのインストラクター等の配置	総合体育館トレーニングルームでトレーニング基礎講座を開催（全 6 回）。	常駐インストラクターの配置ではなく，利用者ニーズを踏まえながら適宜講座を開催する。	検討	検討	<u>一部実施</u>	継続	<u>継続</u>
		プロスポーツ応援観戦ツアー等の開催	水戸ホーリーホックで「東海村の日」（優待チケットでの観戦可）を実施した。	水戸ホーリーホックで「東海村の日」（優待チケットでの観戦可）を継続する。	<u>一部実施</u>	継続	継続	継続	<u>継続</u>
2-②	多様なスポーツ人材の育成・確保	実技指導者の指導力向上研修会等の開催	村スポ協主催講習会や「スポフェス」への出展ブースにおいて，テーピング等の実践的な講習会を開催した。	スポーツ分野で専門的知見を有する大塚製薬を始めとして，産学官の連携により実技指導者の指導力向上を図る。	<u>実施</u>	継続	継続	継続	<u>継続</u>
		「レクリエーションインストラクター」養成制度の創設	既存制度の情報収集を行った。スポ少指導者講習費用を支援した。	県等で実施している指導員養成制度を活用し，村内の指導者を確保・育成する。	—	—	検討	検討	<u>検討</u>
		2019 年茨城国体を契機としたスポーツボランティア登録制度の新設	「スポフェス」で村スポ協(バレー連盟)や高校生会などのボランティアを活用した。	スポフェス等のイベントスタッフのほか，様々なスポーツボランティアのかたちを検討する。	—	<u>実施</u>	継続	継続	<u>継続</u>
		スポーツ大会出場助成金制度等の活用促進	スポーツ大会出場奨励金を交付した（25 名（R5.1.31 現在）。）今年度から，村内在住高校生の部活動による全国大会出場等，交付対象を拡大した。	制度の周知を強化し，奨励金の活用を促進する。併せて，「スポーツをする人を応援する」気運を醸成する。	検討	<u>実施</u>	継続	継続	<u>継続</u>
2-③	スポーツ活動団体への支援	「スポーツ少年団体験教室（スポ少フェス）」の開催	チャレンジスクールの継続実施のほか，スポフェスでのスポ少ブースを設置し，活動 PR と新入団員の勧誘を行った。	チャレンジスクールの開催と併せて，スポフェスでのスポ少ブース設置による活動 PR と新入団員の勧誘を継続する。	—	—	<u>一部実施</u>	継続	<u>実施</u>
		スポーツ関係団体を対象としたスポーツ施設等の事前予約制度の拡充	学校開放施設を拡充し（東海高校体育館・卓球場），村スポ協及び村スポ少加盟団体の優先利用枠を設定した。	学校施設開放等において，柔軟な予約制度を検討し，「多くの人がスポーツに親しむことができる」環境を確保する。	—	—	—	検討	<u>実施</u>
		競技レベル・年代に応じたスポーツ活動団体育成の仕組みづくりの検討	SC スマイル TOKAI での陸上アスリートクラスや競技エアロビクスを実施した。	活動者のニーズの把握に努め，SC スマイル TOKAI 等と連携しながらプログラムを提供する。	<u>一部実施</u>	継続	継続	継続	<u>継続</u>

令和４年度 東海村スポーツ推進計画の進捗管理シート

【基本目標３】 まちづくりにつながるスポーツ環境の基盤をつくる

達成指標	スポーツに関心がある人の増加	現状値 (H29)	75.7%
------	----------------	--------------	-------

※ 達成指標は基本目標の明確化を図るために設定したもので、現状値は平成２９年度の東海村スポーツ推進計画策定時に実施したアンケート調査の結果によるもので、数値は達成指標において「大いに関心がある・ある程度関心がある人の割合」の合計値。次は次期計画策定時（2023 年度）に測定。

■施策毎の取組の進捗状況及び今後の予定

施策		主な取組	今年度の取組内容	今後の予定（方向性）	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
3-①	いつでもスポーツ ができる施設環境 の整備	少年野球の利用を見据えた久慈川河川敷ソフトボール場の改修	H30 に改修済み。	適正かつ効率的な維持管理を行う。	<u>実施</u>	運用	運用	運用	運用
		村内事業所所有のスポーツ施設の活用に向けた協議・検討	学校開放施設を拡充し（東海高校体育館・卓球場）、村スポ協及び村スポ少加盟団体の優先利用枠を設定した。	村スポーツ施設の稼働状況及び活動者のニーズの把握に努め、「多くの人がスポーツに親しむことができる」環境を確保する。	—	—	<u>実施</u>	継続	継続
		久慈川河川敷ニュースポーツ広場の整備	広報とうかい等により運用方法を周知し、令和４年５月１日から運用を開始した。	活動者のニーズの把握に努め、運用促進に向けた課題を整理する。	—	—	検討	検討	<u>実施</u>
		阿漕ヶ浦公園スポーツ関連施設及び新たなスポーツ施設の整備の検討	R4 は取組なし。（阿漕ヶ浦公園については R2 に都市整備課と協議済）	芝生広場も含めた阿漕ヶ浦公園のスポーツ施設としての活用について、関係機関と引き続き協議する。	—	—	<u>実施</u>	継続	継続
3-②	スポーツ関連情報の 収集・発信	スポーツ情報ポータルサイトの構築	村公式 HP「東海村運動・スポーツ総合情報ページ」において、今年度のスポーツイベント等の年間予定を掲載した。	適宜、情報の更新、コンテンツの見直しを行う。	—	<u>実施</u>	継続	継続	継続
		「スポーツレポーター」制度の導入	スポーツ成績優秀者の情報発信の方法・基準等を整理した。	スポーツ団体や活動者の活躍の状況等、情報収集・発信の仕組みを構築する。	—	—	—	検討	検討
		スポーツ年間行事カレンダー等の発行	広報とうかい 5/10 号（特集）及び村公式 HP「東海村運動・スポーツ総合情報ページ」において、今年度のスポーツイベント等の年間予定を掲載した。	スポーツ団体や活動者の活躍の状況等、情報収集・発信の仕組みを構築する。	検討	検討	検討	検討	<u>実施</u>
3-③	スポーツを通した 多様な連携による まちづくりの展開	庁内の健康増進・子育て・観光セッションと連携した事業の実施	健康づくり講座や（SC スマイル TOKAI 受託）、スポフェスで健康づくりブース（体組成測定、減塩レシピ紹介等）、観光協会 PR ブース設置等、連携して事業を実施した。	スポフェスをはじめとして、スポーツを通した多様な部門（健康増進課、子育て支援課、産業政策課等）との事業連携について協議を進める。	<u>実施</u>	継続	継続	継続	継続
		東海まつり、環境フェス等のイベントでのスポーツ体験教室の実施	R4 は取組なし。	目的及びターゲットを明確にしてスポーツ「きっかけづくり」「習慣化」を支援する。	<u>実施</u>	継続	継続	継続	継続
		高齢福祉と連携したレクリエーション教室の開催	高齢者を含む親子（３世代）で参加できるスポーツイベント「スポフェス」を開催した。	スポフェスをはじめとして、高齢者スポーツなどの事業連携について、関係機関（社協、高ク連等）と協議を進める。	—	—	検討	<u>実施</u>	継続
		障がい福祉と連携した障がい者と健常者の合同スポーツイベントの実施	スポフェスにおいて、パラスポーツ（ボッチャ）体験ブースを設置した。	財団、スポーツ推進委員、総合相談支援課、社協等と連携し、障がい者スポーツに係る取組について協議を進める。	—	—	検討	<u>実施</u>	継続
		「“スポーツのまち”東海村」を目指した機運の醸成	「ニュースポーツだョ！全員集合！！」や「スポフェス」など、村民が一丸となって運動する日を創出した。	スポーツイベントの開催やトップアスリートの輩出など、スポーツ通してまちの活性化を図る。	<u>実施</u>	<u>実施</u>	<u>実施</u>	<u>実施</u>	<u>実施</u>